

## 令和2年6月定例会報告

令和2年6月5日（金）から6月23日（火）の間、6月定例会が開催されました。

今議会では、令和2年度宇部市一般会計補正予算（第2回）など新型コロナウイルス対応の議案などを審査しました。

また、3月議会で継続審査となっていた「ゴミの有料化」に伴う2つの議案の撤回請求が市長からなされました。理由は、「文教民生委員会での継続審査における議論を踏まえ、今後更に内容を精査した上で再度提案を行う必要があるため」ということですが、私は副委員長として議論に参加してきましたが、有料化の前にまだまだ考えられる施策があるのではないかとの認識で、この撤回請求は妥当であり、今後、執行部と共に、施策展開を考えていきます。

◎ 次のとおり、一般質問を行いました。

質問 今後の宇部市の行財政運営について

（質問要旨）

この度の新型コロナ禍で多大な影響を受けられた市民の方も多と思います。お見舞い申し上げるとともに、より早い終息を祈る者であります。市長さんをはじめ市職員の方々、多くの関係者の皆様のご労苦に対し深く感謝をするものであります。大変ありがとうございます。

今回の新型コロナウイルスに対し、世界各国での動きや日本全国の動き、今後新しい市民生活様式の変容など今後どのような動きになって行くのか、なかなか見通すことが難しい状況にあります。昨日、荒川議員さんからもあったように市議会としては、5月11日付けで議長名で令和2年度宇部市一般会計予算の組み替えについて要請をしたところであり、その中で各種イベントの開催経費やインバウンドの推進経費など不要不急の予算項目を新型コロナウイルス感染症対策のための経費に組み替えられるよう市議会の総意として要請しております。

そのような中で、この機会に、市勢活性化のために今後、何をすべきであるか議論をし、より良い方向性が現時点で見出せれば、執行部としも、職員が一体となり、この窮状を乗り越えられるのではないかなと思います。

そこで、市長さんに率直に今から宇部市として、どのようなことをしていかなければいけないか、また、どのような事業は当面据え置くべきか、施策の方向性についてお聞きをしたいと思います。

また、財政運営についても、今後どのようにコントロールしていかれるのか

お伺いします。

(回答要旨)

新型コロナウイルス感染拡大の危機から落ち着きを見せている中、今後新しい日常、新しい生活様式がベースとなり、感染拡大を起こさせずに社会経済活動を活性化させることが求められています。

そのためには基礎的社会インフラとして、デジタル技術の整備普及が鍵となり高速インターネットやクラウドサービス AI などの情報技術 IT によって、ビジネスや生活の質を高めることが必須とされています。

このことは、まさに本市がこれまで進めてきたことであり、第2期宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略にも位置づけしております。

最先端通信技術である5G環境の基盤整備や、AI・IoTの活用によるスマートシティの推進は時機を得たものであり、さらに加速させる必要があります。

すなわち、スマートシティを新たな社会基盤として、旧山口井筒屋宇部店を核とした中心市街地の活性化、市内事業者の高度化、都市部からのICT企業などの誘致や、移住者のさらなる増加につなげて、本市の活力を高めていく必要があります。

一方で、新型コロナウイルスが収束するまでは、持続的な景気回復は見通せないとも言われており、市財政においても、令和2年度以降は、大幅に税収が落ち込み、厳しい行財政運営が予想されます。

このため、まずは、今回の補正予算(案)において、全63事業で見直しを行い、総額1億1566万5千円を減額し、予算を組み換えたところです。

今後は、新規の施設整備をはじめ、老朽施設の廃止など公共施設の在り方をさらに厳しく見直す必要があり、公共施設マネジメントを加速化していきます。

併せて、中心市街地を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえて、新庁舎の第2期棟のあり方についても見直しを検討していきます。

(再質問要旨)

今回のコロナ対策は、経済に与える影響が大きいと認識し、国や現在新規感染者が出ている地域においては大変、経済とコロナ対策が悩ましい事態であると思います。

宇部市においては、4月14日、一人ほど感染者が出ましたが、その後、新規感染者は出ていません。当然、新規感染者が発生した時点においては、対応が違ってくると思いますが、現状、市民はどのように社会、経済活動、特に飲食関係ですが、どう活動をしたらいいと思われますかお伺いします。

(回答要旨)

感染防止に十分配慮され、少しずつ経済活動を行っていただきたいと考えている。

(再質問要旨)

職員にどのような指示をされていますかお伺いします。

(回答要旨)

第2波の可能性があるので、密集する飲食は自粛するよう指導している。

(再質問要旨)

今議会に2回目の一般会計の補正予算が上程されていますが、新型コロナウイルス関係で、どのくらいの宇部市の財源を使って必要な事業を展開されようとしていらっしゃるでしょうか。

(回答要旨)

宇部市の単独として、一般会計で、5億3,841万9千円となる。財政調整基金を6億7千万円取り崩すことになる。

(再質問要旨)

平成28年11月に平成38年度すなわち令和8年度までの財政収支見通しを策定されています。これは、本庁舎建設に伴い策定されたものでありますが、その後旧井筒屋の改修工事など新しい要素も加わり、今回の新型コロナウイルス感染対策も含め、今後も非常に難しい財政のコントロールになると考えています。そのことの認識について、どう考えられますか。

(財政見通しでは、庁舎建設基金は当然、取り崩し、財政調整基金は2億5千6百万円の残しか残らないことになっている。)

(回答要旨)

令和2年度で財政調整基金は約28億5千万円の計画で、現在21億8千万円で6億7千万円少なくなるとの計算であるが、今後柔軟な対応をしていくので、大丈夫であると認識している。

(再質問要旨)

また、新型コロナウイルス感染症対策をこなすために職員体制が必要ということだと認識をしていますが、人員体制はどのようになっていますか。

(回答要旨)

対策室は設けており、5月までに延べ900人の応援職員で給付金処理や学童保育など交替しながら実施している。

(再質問要旨) 具体例を出して、どのようにされるかお伺いしますが、昨日、山下議員さんも議論されましたが、観光まちづくり推進事業の中の県央連携推進事業である山口ゆめ回廊博覧会の中の宇部市リーディングイベントについて、どのような事業で、今後どのようにされるか、お聞きします。

(回答要旨)

令和2年度はプレ事業で、実施するかどうか決定はしておらず、コロナの影響で事業を見直し、マイクロ・バーチャルツーリズムなど新しい観光の在り方を検討していく。

(再質問要旨)

今後、失業対策について考えて行かなければ場面も予想されますが、現時点でどのように考えていらっしゃるかお伺いします。

(回答要旨)

宇部市管内の4月の有効倍率は1.38であり、現在のところコロナの影響で倒産した企業はなく、失業が発生していけば、ハローワーク宇部やジョブスタなどとの連携、また、今後、就職氷河期に対応する次世代キャリア推進事業などで対応していく。

(再質問要旨)

住みたい田舎総合部門で第一位になった宇部市ですが、その一つに、農業対策も含まれると思いますが、どうでしょうか。

(回答要旨)

大都市一極集中の是正のため、この流れをつかんでいきたい。新しい仕事の仕方も含め、今までも農福連携など実施してきている宇部市であるので、今後でも取り組んでいく。

(要望)

(市税も落ちるであろうし、国の状況も考えると) 来年度に向けて、是非、職員と一体となって、いい予算を作られるようお願いしたい。

以上が、一般質問の概要ですが、新庁舎建設の時点から財政問題に取り組んできました。旧井筒屋の改築工事と運営に多額の経費がかかること、今回のコロナウイルス対策も最重要課題として取り組まなければなりません。今後、非常に難しい財政のコントロールになると思います。しっかりと不要不急の事業のチェックをしていきます。